



港南小学校 学校だより

12月

二十四節気・七十二候

<12月の二十四節気>

- ・12月7日 大雪
天地閉塞雪降る
- ・12月21日 冬至
冬の最中日南下の極

<12月の七十二候>

- ・閉塞成冬
そらさむくふゆとなる
→天地の気が塞がって冬となる。
- ・熊蟄穴
くまあなにもこる
→熊が冬眠のために穴に隠れる。
- ・鮭魚群
さけのうおむらがる
→鮭が群がり川を上る。
- ・乃東生
なつかれくさしょうず
→夏枯草が芽を出す。
- ・麋角解
きわしかのつのおつ
→大鹿が角を落とす。
- ・雪下出表
ゆきわたりでむぎのびる
→雪の下で麦が芽を出す。

子供たちの未来(本校の研究から)

校長 船木 亮作
早いもので今年もあと一か月を残すのみとなりました。十一月は寒暖の差も激しく体調を崩す子供たちもいましたが、学校でも引き続き子供たちの体調管理に努めてまいります。

先日の学校公開では多くの方々にご来校いただきありがとうございました。のべ三〇〇人を超える皆様に子供たちの様子をご覧いただき、ありがとうございました。また、同時に行われました地域総合防災訓練にも三〇〇人を超える方が参加され、地域の防災に対する意識の高さを感じる事ができました。本校の子供たちも発達段階に応じたプログラムを行い、防災意識を高めることができました。普段から子供たちには「自分の命は自分で守る」ことを指導しています。その意味でも、緊急時における自己防衛の仕方を少しでも学ぶことができたと考えています。色々な体験活動を企画して下さった関係諸機関の皆様には改めて御礼申し上げます。

さて、子供たちの未来について考えたとき、多くの学者が次のように述べています。

一、子供たちの六五%は、大学卒業後、今存在していない職業に就いている。
「キャシー・デビットソン氏(ニューヨーク市立大学大学院教授)」

二、今後十年〜二十年程度で、約四七%の仕事が自動化される可能性が高い。
「マイケル・オズボーン氏(オックスフォード大学準教授)」

三、二〇三〇年までには、週十五時間程度働けば済むようになる。
「ジョン・メイナード・ケインズ氏(経済学者)」

また、技術革新によって模倣するものや単純な作業はロボットやコンピュータが行うことになるとも言われています。では、子供たちの未来を考えたとき、どのような力をつけていく必要があるのでしょうか。

既にご存知の方も多いと思いますが、二〇二〇年度から大学入試センター試験に代わる共通テストとして「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」が実施されます。十分な知識・技能を有しているかを問いつつ、思考力・判断力・表現力を中心に評価するテストになります。

す。ですから、個別の事実的な知識だけでなく、社会の中で生きて働く知識や理解していること・できることを使っていく資質や能力が大切になってきます。

そこで、本校では今年度から港



区教育委員会研究奨励校の指定を受け、「アクティブ・ラーニング」を通して、自己肯定感を高め合う児童の育成」を目指し、昨年度まで二年間行った研究で明らかに研究を深めています。これは、次期学習指導要領(平成三二年度完全実施)の一つの方向を示したものであります。新学習指導要領では、全教科・教科外で「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の三つの柱に沿ってどのような力を付けるかが描かれています。その中で、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の視点からの学習過程の改善が求められています。本校では、授業研究を通して教える場面と思考・判断・表現させる場面を効果的に設計すること、子供たちにとって必然性・必要感のある課題を設定すること、他者と関わる効果的な場面を設定し、自分を振り返ったり見直したりすることなどを中心に実践研究を進めています。先日の学校公開の授業においても、子供たちに必要感のある課題を設定し、子供たちが進んで表現する場面を設けたり、他者と関わる(話し合いなど)を通してさらに学習を進展させたりする場面もご覧いただけただけのことと思います。

私たちは、未来を生き抜く子供たちを育てていかなければなりません。そのためには、子供たちの未来を見据えつつ自身に付けておかなければならない力をきちんと習得させていくためにも、今後も研修を重ねていきたいと思っております。



表彰

第28回

NPO法人ふるさと小中学生俳句ぶらざ俳句大会

東京都知事賞 小高 侑菜
選者推薦作品 稲森 公乙

第27回ちびっ子サッカーフェスティバル

2年 3位 港南FC Bチーム
3位 港南FC Aチーム
1年 優勝 港南FC Aチーム
3位 港南FC Cチーム

第16回芝浦工業大学ロボットセミナー全国大会

スパイダー小学生の部

3位 宮崎 峻

副校長より

先日の校外での子供たち、安全のために、警察署の方、PTAの皆さん、安全委員会の皆様、ご指導をいただき、誠にありがとうございます。冬休み期間中、ご家庭での過ごし方、お正月の過ごし方、お正月の飾りつけ、お正月の行事など、ご家庭での過ごし方を、ご指導をいただき、誠にありがとうございます。

冬休み期間中、ご家庭での過ごし方、お正月の過ごし方、お正月の飾りつけ、お正月の行事など、ご家庭での過ごし方を、ご指導をいただき、誠にありがとうございます。

冬休み期間中、ご家庭での過ごし方、お正月の過ごし方、お正月の飾りつけ、お正月の行事など、ご家庭での過ごし方を、ご指導をいただき、誠にありがとうございます。

冬休み期間中、ご家庭での過ごし方、お正月の過ごし方、お正月の飾りつけ、お正月の行事など、ご家庭での過ごし方を、ご指導をいただき、誠にありがとうございます。

今月の生活目標

きまりを守って生活しましょう。

今月のあいさつ当番

1年・5年

12月の行事予定

1日	木	Winter Festa①
2日	金	Winter Festa②
3日	土	土曜授業日 Winter Festa③、人権週間終 ★下校時刻変更 6年のみ 12:20
4日	日	
5日	月	全校朝会、セーフティタイム、委員会活動
6日	火	基礎・清掃なし ★下校時刻変更 1年 14:15 2~6年 15:10
7日	水	港区&サントリーホールENJOY!MUSICプロジェクト(4年) 研究授業(1-5) ★1-5は5時間授業、他の学級は13:15下校
8日	木	体育朝会・集会 八丈島の浜のお母さんと語ろう会(4年)
9日	金	
10日	土	
11日	日	
12日	月	全校朝会、クラブ活動
13日	火	保護者会(2・3・5年) 15:00 社会科見学(6年)
14日	水	研究授業(3-1・5-4) ★3-1・5-4は5時間授業、他の学級は13:15下校
15日	木	体育朝会・集会 保護者会(わ、1・4・6年) 15:00
16日	金	
17日	土	土曜授業日
18日	日	
19日	月	全校朝会
20日	火	げんきアップタイム
21日	水	
22日	木	終業式、給食終、大掃除 5校時 ★下校時刻変更 3~6年 14:40
23日	金	天皇誕生日
24日	土	ふれあいクリーン作戦 校庭開放
25日	日	

★12月26日(月)~1月7日(土) 冬季休業日★

この他に、避難訓練(予告なし)があります。

1月の主な行事予定

- 10日(火) 始業式、給食始【全学年5時間授業】
- 11日(水) 書き初め会(1・2・3・4年)
- 12日(木) 書き初め会(わ、5・6年)、発育測定始
- 16日(月) 委員会活動
- 20日(金) 学校公開①、書き初め展始
- 21日(土) 学校公開②
セーフティ教室(2校時 低学年、3校時 高学年、中休み 保護者)
- 23日(月) クラブ活動
- 26日(木) ユニセフ集会
- 27日(金) ユニセフ週間始、書き初め展終
- 28日(土) 土曜授業日、フレンドリータイム
ふれあいクリーン作戦(2年)
漢字検定4校時【下校時刻変更】

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	26	211	203	197	189	162	164	1152

五年生より

五年生では、「全担任で学年全ての児童の指導に当たる」一環として、学期ごとに教員の専門性を生かして一部教科担任制を実施しています。複数の教員が観ることを通して児童のよさを多角的に見出すように考えています。例えば理科「流れる水のはたらき」では、授業で発揮された児童のよさを五担任による会議で共有し、児童理解をより深めています。今後も学習・生活の両面で児童のよさや課題を把握し、児童一人一人の成長につなげていきたいと考えております。

(二組担任 小清水孝)



ウィンターフェスタに向け、図工では砂絵「向かい合う笑顔、その間には？？」に創意工夫を生かしながら取り組みました。



合奏「ブラジル」では、様々な楽器のリズムを合わせて演奏することに気を付けています。合唱「COSMOS」では、一人一人が一生懸命に口を大きく開け、強弱を付けて歌うことを意識しています。当日、児童の真剣な表情をご覧いただければと思います。

(三組担任 石井直子)

研究部 生活科部会より

生活科では、「友達との関わりを通して気付きの質を高め、自分も友達も大切にできる児童の育成」を目指して研究を行っています。

十月二十六日(水)に、二年生が「みんなだあいすき！」港南の町たんけんたい」という単元で研究授業を行いました。一人一人が町探検で見つけてきた特色を基にして、さらに町の人に聞きたいことをグループで話し合い、イン

研究部 国際科部会より

国際科では、①子供たちが言いたい、伝えたいと思える言語材料の選択及び場面設定②主体的なコミュニケーション活動③学びの振り返り、を中心に研究を行っております。

十一月二日(水)に二年生の「Weather」の単元で研究授業を行いました。子供たちから言ってみよう、知っていたという意見が出た単語「オーロラ、台風、嵐」などを取り上げた「How's the weather?」「It's

sunny」などと答えながらコミュニケーションを図る場を設定したりし、より意欲的に学習に取り組むように工夫しました。今後も、子供たちがより主体的に学習に取り組めるよう、また実践的な力身に付けられるように研究してまいります。

(国際部 三和 あかね)



研究部 特別活動部会より

特別活動部会では、「学級活動を通してよい生活や人間関係を築こうとする児童の育成」を研究の主題に決めて研究に取り組んでいます。

十一月二日(水)に一年生が「二年四組の大会の計画を立てよう」という議題で、話し合いを行いました。大会が盛り上がる係を決めようと、子供たちは理由を明確にして自分の意見を発表しました。何度もの学級活動を通し、子供たちは司会や

研究部 社会科部会より

社会科部会では、研究主題を「調べたことや考えたことを表現し、他者と関わりながら課題を解決できる児童の育成」として研究を進めています。

十月二十六日(水)には、六年三組で「新しい日本、平和な日本へ」の小単元で研究授業を行いました。それまで子供たちは、戦後の日本の復興について、一九六四年の東京オリンピック、札幌オリンピック、長野オリンピックを事例として学んできました。

当日の授業では、「二〇二〇年の東京オリンピックに向けて日本はどのような国を目指したらよいか」を話し合いました。子供たちは、日本のよさや課題から二〇二〇年までに国として取り組むべきことを考え、自分達には何が出来るかを話し合いました。二〇二〇年には十六歳になってくる六年生が東京オリンピック・パラリンピックに進んで参画していきます。

(社会科部 高嶋 佑樹)



(特別活動部 大黒 唯)

算数少人数より

算数少人数習熟度別指導では、二年生から六年生までの児童を、それぞれの習熟度や特性に合わせてクラス分けし、学習しやすい環境づくりを目指しています。児童一人一人が算数の学習を楽しみ、「できた、分かった」と実感できる授業を、児童と共に作っています。学級担任と算数少人数担当の教員が協力して児童と学習をしています。算数室では四人から八人、教室では二十人から三十人ほどの人数で行っています。これからも見

童と共に、深い学びをしていきたいと思えます。
算数少人数担当 菊池 光



理科部より

理科では、週に三回サイエンスアドバイザー(SA)の深井尚彦さんが来ています。SAは、理科の専門的な知識をもって、教材研究や教材準備等を担任と協力して行っています。

理科部 青木 良太

理科の学習では、実験を行う際に様々な道具の準備や片付けが必要となります。このような場合には、SAに事前準備をお願いしています。実験の中には、火を扱ったり薬品を使ったりするものがあります。安全面のサポートとして、S



農業クラブ

屋上にある畑に野菜を植え、水やりをしながらみんなで大切に育てています。五月には、ミニトマト、ナス、キュウリ、スイカ、サツマイモを植えました。大変よく実り、漬物にするなどしておいしくいただきました。スイカは受粉がうまくいかず、実らせることができませんでしたが、こうした経験から子供たちは植物を育てる大変さを感じることができました。

サツマイモは、調理室で焼き芋、大学芋、スイートポテトにして食べました。自分たちが育てたサツマイモのおいしさは格別でした。現在はハクサイやニンジンなど、冬に採れる野菜を育てています。最後は鍋などしてみんなで温まりたいと思います。
農業クラブ担当 清水 沙也香



なわとびクラブ

なわとびクラブは八人で活動を行っています。少ない人数だからこそ、全員で活動内容を相談し、一緒に取り組むことができます。和気あいあいとした雰囲気がとても素敵なクラブです。

なわとびクラブ担当 並木 恵美子

一学期には長縄を使ってできる活動を行いました。八の字跳び、縄を使った昔遊び、ダブルダッチに挑戦しました。二学期には短縄を使ってできる活動を行いました。アドバイスを

手芸クラブ

今年度は、四・五年生で活動しています。五年生が初めて手芸をするという四年生に、上級生として糸の通し方や玉留め、玉結びの仕方を優しく教える姿が見られています。

活動の中で、世界に一つだけの作品がたくさんでき上がっていきます。自分で作ることができ、楽しさを味わいながら、これからも協力して活動していきます。
手芸クラブ担当 木元 千春



保健委員会

保健委員会では、「港南小の子供たちが健康で安全に生活できるように」をテーマに活動しています。保健室当番を決めて、飲料水の水质検査をしたり、トイレや流しの石けんをチェックしたりしています。また、蛇口の向きを下に直す活動もしています。

保健委員会担当 洲崎 保子

一学期には、これらの常時活動に加え、歯と口の健康についての作文を書きました。今までの経験や調べたことを基にまとめ、東京都学校歯科医学会主催の「歯の作文」に

応募しました。他にも熱中症予防についてのポスターをかき、廊下に掲示しました。キャッチフレーズを入れたり絵を描いたり全児童に伝わりやすいように工夫しました。二学期には、港南小のどこでけがが起きやすいかを調べ、「けがマップ」を作成しています。けがの多い場所や状況が分かれば、安全に気を付けて行動でき、けがの防止につながると考えて取り組んでいます。